

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公表番号】特表2007-530808(P2007-530808A)
 【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)
 【年通号数】公開・登録公報2007-042
 【出願番号】特願2007-505374(P2007-505374)
 【国際特許分類】

D 2 1 H 21/16 (2006.01)
 D 2 1 H 17/15 (2006.01)
 D 2 1 H 17/17 (2006.01)
 D 2 1 H 19/10 (2006.01)
 D 2 1 H 19/20 (2006.01)
 D 2 1 H 19/22 (2006.01)

【F I】

D 2 1 H 21/16
 D 2 1 H 17/15
 D 2 1 H 17/17
 D 2 1 H 19/10 A
 D 2 1 H 19/10 B
 D 2 1 H 19/20 A
 D 2 1 H 19/20 B
 D 2 1 H 19/20 D
 D 2 1 H 19/22

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成23年7月5日(2011.7.5)
 【誤訳訂正1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

脂肪および油に対する高い浸透抵抗を有する含浸加工紙において、含浸加工紙が15°SR~90°SRの叩解の程度で強度に叩解されたパルプから製造され、アルケニル無水コハク酸および/またはアルキルケテンダイマー(AKD)および/または樹脂サイズ剤で内面サイジングされ、アセタール化エチレン-ビニルアルコールコポリマー、アセタール化ポリビニルアルコール、ポリビニルブチラール、アセタール化シラノール基含有ポリビニルアルコール、アセタール化カチオン変性ポリビニルアルコールの群から選択される水溶性結合剤80~100質量部からなる結合剤系を含有する含浸液で処理されることを特徴とする、脂肪および油に対する高い浸透抵抗を有する含浸加工紙。

【請求項2】

内面サイジングのためにアルケニル無水コハク酸0.05~0.3質量%を含有する請求項1記載の含浸加工紙。

【請求項3】

含浸液が付加的に20質量部までの分散液中の水不溶性ポリマーを含有する請求項2記載の含浸加工紙。

【請求項4】

分散液中の水不溶性ポリマーがポリアクリロニトリル、ポリアクリレート、ポリ酢酸ビニルおよびポリスチレン-ポリアクリレートコポリマーからなる群から選択される請求項3記載の含浸加工紙。

【請求項5】

ポリビニルアルコールが少なくとも2種の混合物であり、その少なくとも1種が35 mPa・sより高い粘度を示し、少なくとも1種が35 mPa・s未満の粘度を示す請求項1から4までのいずれか1項記載の含浸加工紙。

【請求項6】

含浸液が架橋剤を含有する請求項1から5までのいずれか1項記載の含浸加工紙。

【請求項7】

架橋剤がグリオキサルである請求項6記載の含浸加工紙。

【請求項8】

含浸液が架橋剤としてグリオキサルおよび水溶性結合剤としてアセタール化ポリビニルアルコールおよび/またはアセタール化カルボキシル基含有ポリビニルアルコールの混合物を含有する請求項6または7記載の含浸加工紙。

【請求項9】

含浸液の塗布質量が乾燥物質として計算して面当たり0.3～1.5 g/m²である請求項1から8までのいずれか1項記載の含浸加工紙。

【請求項10】

アルケニル無水コハク酸および/またはアルキルケテンダイマー(AKD)および/または樹脂サイズ剤で内面サイジングした、15°SR～90°SRの叩解の程度を有するパルプ、機械的木材パルプまたは再生古紙から原紙を製造し、この紙を、アセタール化エチレン-ビニルアルコールコポリマー、アセタール化ポリビニルアルコール、ポリビニルブチラール、アセタール化シラノール基含有ポリビニルアルコール、アセタール化カチオン変性ポリビニルアルコールからなる群から選択される水溶性結合剤80～100質量部からなる結合剤系を含有する含浸液で含浸する工程を含む紙材の製造方法。

【請求項11】

含浸液が付加的に20質量部までの分散液中の水不溶性ポリマーを含有する請求項10記載の方法。

【請求項12】

分散液中の水不溶性ポリマーがポリアクリロニトリル、ポリアクリレート、ポリ酢酸ビニルおよびポリスチレン-ポリアクリレートコポリマーからなる群から選択される請求項11記載の方法。

【請求項13】

含浸をサイズプレス、フィルムプレスを含む被覆装置中で実施する請求項10から12までのいずれか1項記載の方法。

【請求項14】

サイズ処理された原紙を含浸の前に95～99%の乾燥原料含量に乾燥する請求項10から13までのいずれか1項記載の方法。